



熱戦の裏に

教育長 津野庄一郎

冬季五輪を知ったのはアジアで初めて開催された1972年の札幌五輪。中でも日の丸飛行隊と称され70m級スキージャンプで金・銀・銅と表彰台を独占した快挙は今でも鮮明に覚えています。当時小学校6年生だった私は、新聞の写真を部屋に飾り、感動の余韻に浸ったものです。

数年前に「ヒノマルソウル～裏舞台の英雄たち～」という映画を見ました。1998年に開かれた長野冬季五輪のスキージャンプ団体金メダルの裏で、競技を支え続けたテストジャンパーたちの実話をもとにしたドラマです。その中にこれまで日本選手を牽引し、腰痛のため代表から落とされた西方選手がいました。五輪本番、一本目のジャンプを失敗した日本が逆転を狙う中、猛吹雪で競技は中断。審判員たちは「テストジャンパー25人が全員無事に飛べたら競技を再開する」との判断を下します。日本の金メダルはこの西方をはじめとするテストジャンパーたちに託されることになり、彼らは日本選手のため懸命に飛び続け、ジャンプ台の安全を証明したのです。

去る1月23日夕方、関川村スポーツ協会主催（会長：小池稔）の新春懇談パーティー及び功労者・優秀選手表彰式が、村民会館大ホールで行われ、70名余りが集まりました。その中に功労者表彰を受けた吉田尋良さん（大島）がいます。30年以上にわたり、村民駅伝競走大会や関川マラソン大会で、愛車のサイドカーを運転し、先導役として選手の安全確保に努めるなど、村のスポーツ振興に尽力されました。感謝の他ありません。

2月6日からイタリアのミラノ・コルティナで第25回冬季五輪が開催されます。（イタリア時間は日本時間－8時間）平野歩夢さん（村上市）や中井亜美（新潟市）さんなど本県出身の選手の活躍に期待が高まります。チーム日本の選手たちは、どんな景色を見せてくれるのでしょうか。今からとても楽しみです。

<【写真】小池会長から表彰を受ける吉田さん>